

# わが家の防犯のお約束

(ここにお約束を書いておうちのみなさんと守りましょう。)



## お問い合わせ

北九州市 安全・安心推進課

TEL.093-582-2911 FAX.093-582-3889

北九州市印刷物登録番号第1508120A号

# 子どもを守る 家庭の防犯力アップ ハンドブック

《クイズ》AとBどちらの方が危険だと思いますか？



A  
家やフェンスがなく木々に囲まれた公園



B  
中の見えるフェンスに囲まれている公園  
(ごたえは3ページ)



北九州市

## はじめに

全国的に子どもの連れ去り事件をはじめとした子どもが被害者となる事件は後を絶ちません。

この現状を踏まえ、本市では、

子どもに防犯力を身につけさせるためには、

家族でいっしょに防犯について話し合い、

子どもと家族の防犯意識の向上を図ることが大切と考えました。

その一環として、小学校で実施しています

地震安全マップづくりや安全セミナーに

地域や保護者の方への参加の呼びかけを行ってまいりました。

この取組では、自分自身が危険な場所を出来るだけ

避けて行動したり、普段から周りに注意を払い、

気をつけることができる能力を身につけられるなど、

犯罪から大きく遠ざかる効果があります。

どうぞ、この機会に家族で防犯について話し合い、

家庭の防犯力アップに役立ててください。

## <目次>

子どもの犯罪被害の推移……………P1

北九州市の子どもの安全対策……………P2

犯罪が起こりやすい危険な場所とは？……………P3

犯罪にあわないために「子どもができること」……………P4-5

子どもが犯罪にあわないために「家族ができること」……………P6-7

子どもが犯罪にあわないために「地域ができること」……………P8-9

# 子どもの犯罪被害の推移

## 子どもの被害件数の推移

平成27年版「警察白書」によると、

子どもの被害件数は、平成14年以降は減少傾向にあります。

16年中 3万7,054件

20年中 3万3,328件

26年中 2万4,707件(前年より2,076件減少)

全被害件数に占める13歳未満の子どもの被害割合は、近年上昇傾向にあります。

16年中 1.4%

20年中 1.8%

26年中 2.0%

●子ども(13歳未満の者)の被害件数等の推移(平成16~26年)



年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
子どもの被害件数(千件)	37,054	34,459	31,957	34,459	33,328	33,400	31,833	28,500	25,612	26,783	24,707
児童被害件数(千件)	2,932,707	2,208,293	2,550,890	1,998,639	1,826,832	1,714,001	1,684,255	1,582,862	1,403,370	1,314,140	1,212,163
子どもの被害割合(%)	1.4	1.5	1.6	1.8	1.8	2.0	2.0	1.9	1.6	2.0	2.0

※子どもの被害割合とは、刑法犯認知件数に占める子どもの被害件数の割合

全被害件数に占める子どもの被害件数の割合の高い罪種は以下の3つです。

①略取誘拐 55.1%(109件)

②強制わいせつ 14.8%(1,095件)

③公然わいせつ 4.2%(133件)

# 北九州市の子どもの安全対策

市内では、地域、事業者、大学生、NPO団体等が、子どもの安全対策として、様々な防犯活動を行っています。

## 見守り活動①

生活安全パトロール隊や  
スクールヘルパーが見守る。  
(全小学校区)



## 見守り活動②

事業者がタクシーや  
営業車で見守る。



## 地域安全マップづくり

安全・危険な場所を  
見分ける力をつける。  
(毎年小学校で実施)



## 安全セミナー

危険に気づき、  
避ける力をつける。  
(毎年小学校で実施)



※小学校で実施しているので保護者の方も是非参加してください。

# 犯罪が起こりやすい危険な場所とは?

キーワードは「入りやすく、見えにくい」

表紙の問題の答えはAの公園の方が危険です。理由は、公園の周りに囲いが  
ないため犯罪者が「入りやすい」ので危険です。また、周囲に家がなくて人の視線が  
届かないため「見えにくい」ので危険です。

それでは、下の問題は、AとBどちらが危険な場所が考えましょう。

## クイズ①



ガードレールがある歩道



ガードレールがない歩道

## クイズ②



住宅の窓が公園の方を向いていない



住宅の窓が公園の方を向いている

## クイズ③



見通しの良い両目が田んぼの道



住居が両側に並んだ道

クイズ① 答えB  
ガードレールがない歩道は、道路側から車に引き込まれやすいため「入りやすい」ので危険です。

クイズ② 答えA  
公園側が公園の方を向いていないため「見えにくい(見られにくい)」ので危険です。

クイズ③ 答えA  
見通しの良い両目が田んぼの道は、家がなくて視線が届かないため「見えにくい(見られにくい)」ので危険です。

※本市では、数々の犯罪を分析している小宮憲夫教授(立正大学)が考案した「地域安全マップづくり」を  
小学校の授業の中で実施し、子どもの危険回避能力の向上を図っています。

# 犯罪にあわないために「子どもができること」

犯罪者かどうかは、見た目ではわかりません。だから、「5つのちから」をはたらかせて、いつもまわりに注意しましょう。

## 5つのちからをはたかせましょう

危険な目にあう前に、ふだんから自分の身は自分で守るといった気持ちを持ちましょう。



「目」 まわりを見ながら歩く。  
(うしろにも気をつけて)



「耳」 まわりの音に注意する。  
(いつもとちがうように気づく)



「手」 知らない人に近づかない。  
(うで2本分のきよりをおこす)



「足」 すぐ逃げる。  
(おかしいと思ったらすぐにはなれる)



「声」 大きな声で助けをよぶ。  
(近くのおとなに知らせる)

(日本ガーディアン・エンジェルズ「安全セミナー」より)

## 日本ガーディアン・エンジェルズからメッセージ

- ①あやしい人には、近づかないこと
  - ②逃げること
  - ③まわりの人に知らせること
- この三つは、ぜったい忘れずにはおぼえておいてくださいわ。



日本ガーディアン・エンジェルズは、全国をはじめ小倉北区内でも、まちの安全/付トロールや青少年の健全育成活動、芸術文化活動などを行うNPO法人です。

## 学校の登下校時は

- ・決められた通学路を通る。
- ・友だちといっしょに登下校する。



## 公園で遊ぶ時は

- ・一人で遊ばない。



- ・公園の近くのコンビニなど、大人がいる場所を見つけておく。



## 友だちと遊ぶ時は

- ・どこでだれと遊ぶのかを保護者に言う。
- ・防犯ブザー等をもっていく。
- ・暗くなる前に帰る。



## 防犯ブザーのつけ方

どちらの手でも届く場所に取り付ける。

- ・学校の登下校は、ランドセルの肩ベルト。



- ・遊びに行く時は、ズボンやスカートのベルト通し。

こまったとき、すぐに保護者に連絡できるようにしましょう。

# 子どもが犯罪にあわないために「家族ができること」

子どもの安全について、家族で考えましょう。子どもの防犯を学校や地域、子ども自身に任せていませんか。

## ① 家族で防犯について考え行動しましょう

- 住んでいる地域の防犯情報を調べましょう。
- 日ごろから、留守番中の危険や、知らない人に声をかけられたときはどうするかなど子どもと話をしておきましょう。
- 防犯ブザーなどを定期点検しましょう。
- 子どもと大声を出して逃げる練習をしましょう。



## 地域の防犯情報

### ■ 安全・安心マップ

校区別犯罪発生件数を記載したマップを区役所や市民センターで配布しています。



スマートフォンのQR



### ■ ふっけい安心メール(事件・不審者情報)

福岡県警察から、県内で発生した事件情報や防犯情報などをタイムリーに配信しています。詳しくは福岡県警察のホームページをご覧ください。



携帯電話のQR



スマートフォンのQR

## ② 家族でまちを歩きましょう

- いっしょに通学路を歩いたり、近所の公園や子どもの遊び場を確認しましょう。
- 「安全な場所」と「危険な場所」を見つけてみましょう。
- いざという時に駆け込める場所を見つけましょう。  
(子ども110番の家、コンビニエンスストア、商店、知り合いの家等)



## ③ 家族で地域につながりましょう

- 生活安全パトロール隊や地域のイベントなどに参加して、子どもの顔を覚えてもらいましょう。
- 子どもがどこで何をしているか親同士でも情報を共有しましょう。
- 普段から近所の人にあいさつをしましょう。



## 福岡県警察のふっけい君からメッセージ

子どもを狙った犯罪が後を絶ちません。犯人は、登下校時間帯や暗くなり始める夕方に、一人で遊んでいる子どもを狙い「お菓子をあげるから一緒に遊ぼう」「かわいいモデルになってよ」等と声を掛けてきます。お子さんには、「はっきりと断る」「知らない人にはついていけない」「声を掛けられたりした場合は保護者に伝える」ことを教えてください。



# 子どもが犯罪にあわないために「地域ができること」

「声かけて 地域の宝 子どもたち」 これからも、わが子と同じ愛情をもって、子どもたちを見守ってください。

## ① 子どもに声をかけましょう

- ・危険な場所で遊んでいる子どもがいたら、他の場所で遊ぶように声をかけてください。
- ・日ごろから地域の子に進んであいさつをしてください。
- ・夜間に遊ぶ子どもを見かけたら、声をかけてください。



## ② 子どもを温かく見守りましょう

- ・子どもが集まる場所を見守ってください。
- ・一人である子どもを見守ってください。
- ・見慣れない人や怪しい車がないか目配りしてください。



## ③ 危険な場所を減らしましょう

- ・犯罪者が近寄りにくいまちをつくりましょう。  
(防犯ののぼり・木の剪定・草刈り・防犯カメラ・ゴミを散乱させない・落書きを放置しない・あいさつ運動等)
- ・ホットスポット・パトロールを実施しましょう。  
(何度も犯罪が発生した場所を重点的にパトロールすること)



## 「みなさんも地域活動に参加してください！」 生活安全パトロール隊 隊員募集中

生活安全パトロール隊は、自治会やまちづくり協議会の防犯部会を中心とした地域の自主防犯組織です。「通学時の見守り活動」、「夜間のパトロール活動」など様々な活動を行っています。

保護者の皆様も、地域活動に目を向け、安全・安心なまちづくりにご協力ください。



お住まいの校区の「生活安全パトロール隊」については、各区のコミュニティ支援課の安全・安心指導員にお問い合わせください。